

令和7年度 学校関係者評価結果

旭市立干潟中学校

分野	No.	評価者	評 価 項 目	各評価の率（％）				学校による自己評価		改善に向けた取組	学校関係者評価	
				4	3	2	1	平均	評価		自己評価の適正さ	改善に向けた取組の適正さ
学校運営	1	生 徒	学校生活は楽しい	61.9%	32.0%	5.1%	1.0%	3.55	A	生徒は、明るく素直で、教師の話をよく聞き、何事に対しても前向きに取り組む生徒がほとんどであり、行事等とても充実したものとなっていることから、学校生活を楽しんでいる生徒がほとんどである。 教職員は親身になって生徒に接し、生徒の些細な変化に気づけるよう努めたことにより、教職員と生徒は良好な関係を築くことができた。引き続き、生徒、保護者、地域の願いに応じることができるよう、様々な機会を通じて支援していきたい。	◎	◎
		保護者	お子さんは、学校生活を楽しんでいる	48.2%	46.4%	2.7%	2.7%	3.40	A			
		教職員	生徒は、学校生活を楽しんでいる	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	3.60	A			
	2	生 徒	めあてを持って学校生活を送っている	38.1%	48.5%	10.3%	3.1%	3.22	B			
		保護者										
		教職員	教育目標や教育方針・目指す生徒像を意識して活動している	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	3.33	B			
	3	生 徒	先生方は、生徒の要望に応じてくれている	51.5%	44.3%	4.2%	0.0%	3.47	A			
		保護者	学校は、保護者や地域の願いに応じている	27.7%	65.2%	7.1%	0.0%	3.21	B			
		教職員	保護者や地域の願い、生徒の要望に応じている	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	3.33	B			
	4	生 徒	先生は、あなたの個性を認め、能力を伸ばしてくれている	63.9%	30.9%	5.2%	0.0%	3.59	A			
		保護者	学校は、子どもの個性や能力を伸ばしている	22.3%	66.1%	10.7%	0.9%	3.10	C			
		教職員	生徒の個性や能力を伸ばしている	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	3.60	A			
学習指導	5	生 徒	授業の内容がだいたいわかったり、楽しいと感じたりすることが多い	51.5%	42.3%	5.2%	1.0%	3.44	A	学習指導については、生徒は教師の指導に満足し、授業に熱心に取り組んだり、授業の内容を理解し楽しいと感じたりしている生徒の割合が高い。今後も生徒の興味関心を引くような題材の工夫を行う。学習内容の更なる定着を図るためには、家庭学習の充実がポイントとなるため、一人一人に応じた効果的な実施方法を検討していく。 読書については、ここ数年下降傾向が見られる。週2回朝自習の時間に「朝読書」を実施してはいるが、家庭での習慣が身についている生徒は、少ない。引き続き、学校図書館司書との連携を図り「スマホ等にはない読書の魅力」を味わわせることにより、読書活動のより一層の充実を目指す。また、今年度から新しい試みとして「あさよむ」に生徒たちは意欲的に取り組んでいる姿が見られた。「継続と徹底」をキーワードに、「読解力」を高めるため次年度も続け、生徒の変容を見ていく。 定期テストに計画的に取り組んでいる生徒の割合は80％以上であるのに対して、20％程度が計画的に取り組めていない結果となった。テスト計画だけでなく、日頃から計画的に学習を進めることができるよう様々な機会を通して指導していく。そのことが、家庭学習の充実にも繋がっていくと考える。	◎	○
		保護者										
		教職員	教材や教え方を工夫し、わかる授業に努めている	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	3.60	A			
	6	生 徒	先生は、丁寧に教えてくれる（少人数、補習等）	67.0%	32.0%	0.0%	1.0%	3.65	A			
		保護者										
		教職員	丁寧な指導を行っている（少人数、補習等）	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	3.47	A			
	7	生 徒	毎日、家庭学習に取り組んでいる	56.6%	35.1%	5.2%	3.1%	3.45	A			
		保護者	お子さんは、毎日、家庭学習に取り組んでいる	17.8%	62.5%	15.2%	4.5%	2.94	D			
		教職員	家庭学習に取り組ませるために適切な支援をしている	20.0%	66.7%	13.3%	0.0%	3.07	C			
	8	生 徒	学校や家で進んで読書をしている	21.6%	26.8%	33.0%	18.6%	2.52	E			
		保護者	お子さんは、家庭で読書をしている	5.4%	20.5%	57.1%	17.0%	2.14	E			
		教職員	読書活動の推進に取り組んでいる	26.7%	46.7%	26.7%	0.0%	3.00	C			
	9	生 徒	授業に熱心に取り組んでいる	53.6%	39.2%	5.2%	2.1%	3.44	A			
		保護者										
		教職員	生徒は、授業に熱心に取り組んでいる	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	3.53	A			
	10	生 徒	定期テストに計画的に取り組んでいる。	35.1%	46.3%	15.5%	3.1%	3.13	C			
		保護者	お子さんは定期テストに計画的に取り組んでいる。	17.9%	51.8%	24.1%	6.2%	2.81	D			
		教職員	生徒は定期テストに計画的に取り組んでいる。	13.3%	53.4%	33.3%	0.0%	2.80	D			
	11	生 徒	学校は、進路の学習にしっかり取り組んでいる。	43.3%	44.3%	10.3%	2.1%	3.29	B			
		保護者	学校は、進路の学習にしっかり取り組んでいる。	19.6%	55.4%	17.0%	8.0%	2.87	D			
		教職員	学校は、進路の学習にしっかり取り組んでいる。	60.0%	33.3%	6.7%	0.0%	3.53	A			

生徒指導	12	生徒	先生は、自分で考え判断し行動できるように指導してくれる	63.9%	35.1%	1.0%	0.0%	3.63	A	「先生は、いじめをなくすための指導をしてくれる」という問いに対して、98%の生徒が肯定的な回答をしたことは、教職員が生徒のサインを見逃さず、いじめ根絶に向けて真摯に取り組んできた結果と読み取ることができる。いじめを認知した場合は、被害生徒、加害生徒双方から複数の職員で話を聴き、校長の指導のもと、組織的かつ丁寧に指導に当たってきた。いずれの事案についても双方の保護者へ連絡し、その後の様子を慎重に見守るよう努めてきた。来年度以降も、生徒一人一人の声に耳を傾け、生徒たちの個性、多様性を認めた上で生徒のサインを見逃さないよう努める。 校則に関して、今年度「髪型・靴・靴下」の見直しを図った。特に、髪型については「学習や運動に適した自然な髪型とする」と定めており、「安全面、衛生面」を考慮したものであり今後も保護者へ継続的な理解を促していく。 基本的な生活習慣は、学校と家庭が緊密に連携を図ることが重要であり、今後も、家庭と連携を図りきめ細かで丁寧な指導を心掛けていきたい。	◎	○
		保護者										
		教職員	生徒に、自分で考え判断し行動する力を育てている	46.7%	46.6%	6.7%	0.0%	3.40	A			
	13	生徒	先生は、相談事や悩みについて、よくきいてくれる	69.1%	27.8%	2.1%	1.0%	3.65	A			
		保護者	学校は相談事や悩みなどについて適切に応じてくれている。	37.4%	55.4%	6.3%	0.9%	3.29	B			
		教職員	相談事や悩みなどについて、適切に応じている	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	3.67	A			
	14	生徒	先生は、命の大切さや集団生活のルールなどについて指導してくれる	71.1%	26.8%	2.1%	0.0%	3.69	A			
		保護者										
		教職員	命を大切にすると心や社会のルールを守る態度を育てている	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	3.80	A			
	15	生徒	先生は、あいさつや言葉遣いなどの基本的な生活習慣について指導してくれる	72.2%	26.8%	0.0%	1.0%	3.70	A			
		保護者										
		教職員	あいさつや言葉遣いなどの基本的な生活習慣について指導を行っている。	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%	3.73	A			
	16	生徒	先生は、いじめをなくすための指導をしてくれる	68.0%	29.9%	2.1%	0.0%	3.66	A			
		保護者	学校は、いじめについて適切に対応している	26.8%	65.1%	5.4%	2.7%	3.16	C			
		教職員	いじめについて適切に対応している	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	3.93	A			
その他	17	生徒	スマホ（情報端末器）等の使用方法について家族と話し合っている。	42.2%	39.2%	9.3%	9.3%	3.14	C	「お子さんと、将来やってみたいことや就きたい職業について話し合っている」という項目について、保護者の30%以上があまりあてはまらないと回答している。今年度、学校におけるキャリア教育については、1年生において「職業調べ」、2年生において、旭市以外から職種の違う5つの企業の方々をお招きして「職業人と語る会」を実施した。また、全校生徒を対象に、地域の活性化のために活動している方による講演＆歌のライブ、更には、講師をお招きしての「夢を育む講演会」を実施した。今後も、キャリア教育の充実を目指してさまざまな取組を行っていきたいと考えている。 部活動の連絡事項については、保護者が土日休みでないことを念頭に置き、できるだけ早めに予定を連絡するよう努める。また、部活動の下校時間についても、ギリギリまで部活動を行い、慌てて下校することがないように、時間に余裕を持って解散するよう努める。月予定の下校時間が見づらいというご意見もあり、早急に改善した。	◎	○
		保護者	お子さんとスマホ（情報端末器）等の使用方法について話し合っている。	24.1%	61.6%	14.3%	0.0%	3.10	C			
		教職員	スマホ（情報端末器）等の使用方法について指導を行っている。	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%	3.73	A			
	18	生徒	学校行事は、楽しく充実している	78.3%	18.6%	3.1%	0.0%	3.75	A			
		保護者	学校は行事を工夫し、生徒にとって楽しく充実したものとなるよう努めている	49.1%	47.3%	2.7%	0.9%	3.45	A			
		教職員	行事を工夫し、生徒にとって楽しく充実したものとなるよう努めている	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	3.93	A			
	19	生徒	部活動は、先生が付いて指導してくれるとともに充実した活動になっている	67.1%	24.7%	4.1%	4.1%	3.55	A			
		保護者	部活動は充実した活動になっている。	35.7%	48.2%	6.3%	9.8%	3.10	C			
		教職員	部活動は、生徒に付いて指導するとともに充実した活動になっている	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	3.80	A			
	20	生徒	清掃活動に熱心に取り組んでいる。	61.9%	37.1%	1.0%	0.0%	3.61				
		保護者										
		教職員	清掃活動に熱心に取り組んでいる。	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	3.47				
	21	生徒	学校は、校舎内外ともに整備され、落ち着いた環境で学習ができている	57.7%	37.1%	3.1%	2.1%	3.51	A			
		保護者	学校は、校舎内外の教育環境の整備・美化に努めている	40.2%	58.0%	0.9%	0.9%	3.38	B			
		教職員	校舎内外の教育環境の整備・美化に努めている	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	3.53	A			
	22	生徒										
		保護者	学校は生徒の様子を面談や各種お便り、ホームページなどで伝えている	51.8%	45.5%	2.7%	0.0%	3.49	A			
		教職員	生徒の様子を、面談や学年便りなどで伝えている	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	3.80	A			
	23	生徒	将来やってみたいことや、就きたい職業がある	51.5%	22.7%	20.6%	5.2%	3.21	B			
		保護者	お子さんと、将来やってみたいことや就きたい職業について話し合っている	26.8%	40.2%	32.1%	0.9%	2.93	D			
		教職員	教育活動全体を通して、キャリア教育の推進に取り組んでいる	66.7%	26.7%	6.7%	0.0%	3.60	A			
	24	生徒										
		保護者	学校は特別な支援が必要な生徒に対して、丁寧な対応をしている。	28.6%	66.9%	2.7%	1.8%	3.22	B			
		教職員	特別な支援が必要な生徒に対して適切な配慮を心がけ、丁寧に対応をしている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	3.67	A			

【評価基準】	85% (A)	3.4以上	
	80% (B)	3.2以上	3.4未満
	75% (C)	3.0以上	3.2未満
	70% (D)	2.8以上	3.0未満
	70% (E)	2.8以下	
【各評価】			
4：あてはまる			
3：だいたいあてはまる			
2：あまりあてはまらない			
1：あてはまらない			

学校関係者評価の評価基準	学校関係者評価委員
・元PTA会長 ・干潟ライオンズクラブ会長 ・保護司会 ・地域コーディネーター	・青少年健全育成委員 ・地元住民
◎ 適正である ○ ほぼ適正である（検討箇所あり） △ 一部改善が必要 × 見直しが必要	